

令和元年度事務事業実績評価表

1 事業概要

事務事業名		産業団地管理事業		課名	工業課	事業No.	220
				会計	一般会計		
				事業区分	経常	実施区分	継続
				開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画						
	分野別計画			地域経済活性化プログラム			
事業目的	対象	市で整備した産業団地等					
	意図	適正に維持管理					

2 事業内容

1年度取組	取組内容			経費の内容				事業費(千円)	
	飯田市で整備した産業団地4カ所（番入寺インダストリアルパーク、一本平産業団地、桐林環境産業公園、経塚原産業団地）及び工業課で所管している城山産業用地等の維持管理を行いました。 また、伊豆木産業用地について、飯田市土地開発基金より事業用地を購入し、企業へ売却を行いました。			環境整備及び維持経費				509	
				産業団地管理業務				3,273	
				産業団地整備工事費				460	
				事業用地買収費				101,926	
その他の経費				0					
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	適正に維持管理された団地等の数	箇所	5	6	7	7	7	7	
1年度決算(千円)	予算額	106,537	特定財源内訳及び補足事項						
	決算額	106,168	(そ)城山産業用地貸付料 4,091千円						
	財源の状況	国庫支出金	0	(そ)土地売却収入 101,926千円					
		県支出金	0						
		地方債	0						
		その他	106,017						
一般財源	151								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	7	1	5	12	5	106,537	106,168	産業団地管理事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		・産業団地立地企業が組織する連絡会と除草作業やごみ拾いなどの環境整備作業を年間計画どおり実施し、連絡会での提案による作業範囲等の見直しなど、主体性をもった取り組みが行われています。産業用地の維持・管理範囲が年々増加傾向にあり、法面での作業など危険箇所や特殊作業を要する箇所も増加し、一部の作業については業務委託を行っています。また、近年発生している自然災害の状況からも、調整池等の管理を継続して行う必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		・立地企業連絡会との共同作業を計画し、企業と協力して実施するとともに、市内の公有地所管課と連携をしながら産業団地周辺の環境整備に努めます。また、定期的な見回りを継続し、危険箇所などは専門業者への業務委託を行うことにより、作業の効率化と安全の確保を図ります。							
次年度に向けての取り組み		・産業団地（番入寺インダストリアルパーク、一本平産業団地、桐林環境産業公園、経塚原産業団地）及び工業課で所管している産業用地（城山産業用地、伊豆木工場適地、松尾産業用地等）の維持管理を、立地企業連絡会との共同作業や業務委託などにより行います。							